長崎大学の教育理念と目標

長崎は，世界に開かれた日本の窓口として多文化交流の先駆的役割を果たしてきた国際都市であり，被ばく体験をもとに世界の恒久平和を宣言した平和都市です。この地に立地する大学として，長崎大学は歴史に根づく融合と調和，創意工夫と平和希求の精神を継承しつつ，教育研究の高度化と個性化を図っています。本学は，新たな知の創造と社会の調和的発展に貢献できる心豊かな人材の育成によって，世界に向けた情報発信拠点であり続けることを目標としています。

この目標を達成すべく，以下に挙げる３つのポリシーに基づいた学士課程教育を行います。

長崎大学のディプロマ・ポリシー

長崎大学は，４年間あるいは６年間の教育プログラムに定められた単位を修得し，

１．自ら学び，考え，主張し，行動することができる。

２．分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。

３．専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し，高い倫理観を身につけている。

４．地球環境と社会の多様性を理解している。

５．主体性をもって他者と協働できる。

６．地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。

と認められた者に対し，学位(学士)を授与します。

長崎大学のカリキュラム・ポリシー

【令和７年度以降入学者】

長崎大学の教育プログラムは，教養教育と専門教育で構成されます。

教養教育では，大学入学時までに培われてきた総合的な学力を前提に，教養基礎科目，プラネタリーヘルス科目，選択科目，また留学生にあっては留学生用科目を履修することで，社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を学修し，自主的に考え発信する能力，論理的・批判的に物事を考える能力，日本語および英語などによるコミュニケーションを行う能力，数量的スキル，情報リテラシーなどのいわゆる汎用的技能，ならびに継続的に学び自らを高め変革しようとする態度，他者と協調・協働して問題解決にあたる態度，自らに課せられた責任を全うする態度，グローバルかつ地域の視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけます。

知識や理解，汎用的技能についてはそれぞれの授業において，態度・志向性については種々のアンケートやテストによって伸長の度合いを確認します。

専門教育では，教養教育で培われた力をさらに伸ばすとともに，専門的な知識・技能，高い倫理観，ならびにそれぞれの分野・領域に特有の汎用的技能，態度・志向性を身につけます。

授業は講義，演習，実験，実習等の形式で行われます。授業には学生の主体性や協働性を涵養するようアクティブ・ラーニングを促す手法や少人数による教育を積極的に取り入れます。

授業の成績評価は，定期試験の結果，レポートや課題，ディスカッション，プレゼンテーションの成果，授業やゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。評価の結果，学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

すべての授業科目で，学生が自らの学修の振り返りを行うための授業アンケート（受講ふり返り）を実施します。このアンケートはそれぞれの授業改善のためにも活用されます。さらに，入学時，卒業時の意識調査や学修行動調査等を実施することで学生の学修達成状況を把握し，その結果を大学教育の常なる改善に役立てます。

学生は学修ポートフォリオシステムに自らの学修成果を随時蓄積します。学修ポートフォリオを振り返ることで自らの成長の軌跡を確認することができます。また，学修ポートフォリオはメンター教員による学生への指導・助言の資料として利用されます。さらに，卒業時には大学における学修成果の総合評価のための資料としても活用されます。

科目に関する別表（令和７年度以降入学者）

資質等 ＼ 科目等		教養基礎科目	プラネタリーヘルス科目	選択科目／留学生用科目
主として養われる資質	社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識		企業活動と社会 老いと健康 ビギナーのための有機化学 人から見た水産業 対人関係を考える など	日本国憲法 お金をとおして社会・人間を考える ボランティアを通して地域を知る 解放講座 法学入門 など
	自主的に考え発信する能力	初年次セミナー	情報化の役割と課題 海洋食料資源の応用 ことばの世界 ストレスと健康 教育と未来 など	プレゼンテーション基礎疾病の回復を促進する薬 身のまわりの科学 コミュニケーション概論 食の科学 など
	論理的・批判的に物事を考える能力		情報と社会 対人関係の社会学 国際社会と平和 核兵器とは何か 環境倫理学 など	芸術の世界 工学から見た安全安心（エネルギーと資源） 経済学 ゲーム理論入門 など
	日本語および英語などによるコミュニケーションを行う能力	語学 （総合英語Ⅰ－Ⅱ 英語コミⅠ－Ⅱ など）	ことばの世界	日本語上級Ⅰ－Ⅱ オランダの言語 フランス語の言語と文化 韓国の言語と文化 文字と社会 など
	情報リテラシー	情報リテラシー入門 応用情報処理	社会とマスメディア 暮らしの中の化学 地球温暖化を考える など	
	数量的スキル	データサイエンス概論 統計学概論	情報の活用 医療・生命情報学 データの科学的分析と可視化の実践論	データの科学 身の回りの物理科学 統計解析の初歩 意思決定の数理 など
	継続的に学び自らを高め変革しようとする態度	健康科学 キャリア入門 キャリア実践	音楽 人の健康について 医療従事者の実践とキャリア など	海のミクロ生物 学生生活と健康 経験学習実践論 芸術 など
	グローバルかつ地域の視点から多様性を理解しようとする態度・志向性		プラネタリーヘルス入門 日本のことばと世界のことば 健康経済と国際社会 陶磁器からみた文化の多様性 など	異文化理解の実際 長崎歴史文化学 Nagasaki Studies Ⅱ インド入門 など

【令和３年度以降入学者】

長崎大学の教育プログラムは，教養教育と専門教育で構成されます。

教養教育では，大学入学時までに培われてきた総合的な学力を前提に，教養基礎科目，モジュール科目，選択科目，また留学生にあっては留学生用科目を履修することで，社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を学修し，自主的に考え発信する能力，論理的・批判的に物事を考える能力，日本語および英語などによるコミュニケーションを行う能力，数量的スキル，情報リテラシーなどのいわゆる汎用的技能，ならびに継続的に学び自らを高め変革しようとする態度，他者と協調・協働して問題解決にあたる態度，自らに課せられた責任を全うする態度，グローバルかつ地域の視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけます。

知識や理解，汎用的技能についてはそれぞれの授業において，態度・志向性については種々のアンケートやテストによって伸長の度合いを確認します。

専門教育では，教養教育で培われた力をさらに伸ばすとともに，専門的な知識・技能，高い倫理観，ならびにそれぞれの分野・領域に特有の汎用的技能，態度・志向性を身につけます。

授業は講義，演習，実験，実習等の形式で行われます。授業には学生の主体性や協働性を涵養するようアクティブ・ラーニングを促す手法や少人数による教育を積極的に取り入れます。

授業の成績評価は，定期試験の結果，レポートや課題，ディスカッション，プレゼンテーションの成果，授業やゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。評価の結果，学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

すべての授業科目で，学生が自らの学修の振り返りを行うための授業アンケート（受講ふり返り）を実施します。このアンケートはそれぞれの授業改善のためにも活用されます。さらに，入学時，卒業時の意識調査や学修行動調査等を実施することで学生の学修達成状況を把握し，その結果を大学教育の常なる改善に役立てます。

学生は学修ポートフォリオシステムに自らの学修成果を随時蓄積します。学修ポートフォリオを振り返ることで自らの成長の軌跡を確認することができます。また，学修ポートフォリオはメンター教員による学生への指導・助言の資料として利用されます。さらに，卒業時には大学における学修成果の総合評価のための資料としても活用されます。

科目に関する別表（令和３年度以降入学者）

資質等＼科目等		教養基礎科目	教養モジュールⅠ科目	教養モジュールⅡ科目	選択科目／留学生用科目
主として養われる資質	社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識		企業活動と社会 グローバル化時代の社会問題 老いと健康 ビギナーのための有機化学 人から見た水産業 対人関係を考える　など	マーケティング論 美術 疾病と薬物治療 生態系と社会 環境関連法とアセスメント 構造物の世界　など	日本国憲法 お金を通して社会・人間を考える ボランティアを通して地域を知る 解放講座 法学入門　など
	自主的に考え発信する能力	初年次セミナー	情報化の役割と課題 海洋食料資源の応用 ことばの世界 ストレスと健康　など	身のまわりの科学 高齢化社会と地域医療・薬とのかかわり 芸術活動と社会 口腔から始まる健康 食の科学　など	キャリア開発Ⅱ「プレゼンテーション基礎」 疾病の回復を促進する薬 One Health～人、動物、環境(生態系)の健康を一つに考えよう　など
	論理的・批判的に物事を考える能力		情報と社会 対人関係の社会学 BSE 問題を振り返る 新型コロナパンデミックと子宮頸癌ワクチンを考える 経済活動と社会 体の仕組み　など	経済学 分子設計と合成化学 廃棄物と土壌・地下水汚染 ゲーム理論入門　など	ウイルスと進化 芸術の世界 工学から見た安全安心（エネルギーと資源） など
	日本語および英語などによるコミュニケーションを行う能力	語学 （総合英語Ⅰ-Ⅲ 英語コミⅠ-Ⅲ ドイツ語Ⅰ-Ⅳ フランス語Ⅰ-Ⅳ 中国語Ⅰ-Ⅳ 韓国語Ⅰ-Ⅳ など）		日本語と社会 ことばの世界	日本語上級Ⅰ-Ⅱ オランダの言語 オランダの文化 コミュニケーション基礎実践 モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス 文字と社会　など
	情報リテラシー	情報基礎	情報の活用 情報社会の安全と安心 社会とマスメディア 暮らしの中の物理　など		社会生活における情報活用術
	数量的スキル	データサイエンス概論 統計学概論	電気の物理とその応用	統計解析の初歩 意思決定の数理 経営情報と会計情報	データの科学 基礎数学 身の回りの物理科学 物理科学
	継続的に学び自らを高め変革しようとする態度	健康科学 キャリア入門	企業の仕組みと行動 音楽 人の健康について	芸術 健康増進 ジェネティックスとエピジェネティックスの違い	栄養と健康 海のミクロ生物 学生生活と健康 経験学習実践論 芸術と文化　など
	グローバルかつ地域の視点から多様性を理解しようとする態度・志向性	プラネタリーヘルス入門	日本のことばと世界のことば 人口学で見る世界の多様性 国際環境法 異文化接触とコミュニケーション など	環境と社会 法と人権の多様性 音楽と社会 持続可能な社会づくり 海洋の生物と科学　など	アフリカ入門 異文化理解の実際 長崎歴史文化学 Nagasaki StudiesⅡ など

【令和２年度以前入学者】

長崎大学の教育プログラムは，教養教育と専門教育で構成されます。

教養教育では，大学入学時までに培われてきた総合的な学力を前提に，教養基礎科目，モジュール科目，自由選択科目，また留学生にあっては留学生用科目を履修することで，社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識を学修し，自主的に考え発信する能力，論理的･批判的に物事を考える能力，日本語および英語などによるコミュニケーションを行う能力，数量的スキル，情報リテラシーなどのいわゆる汎用的技能，ならびに継続的に学び自らを高め変革しようとする態度，他者と協調・協働して問題解決にあたる態度，自らに課せられた責任を全うする態度，グローバルかつ地域の視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけます。

知識や理解，汎用的技能についてはそれぞれの授業において，態度・志向性については種々のアンケートやテストによって伸長の度合いを確認します。

専門教育では，教養教育で培われた力をさらに伸ばすとともに，専門的な知識・技能，高い倫理観，ならびにそれぞれの分野・領域に特有の汎用的技能，態度・志向性を身につけます。

授業は講義，演習，実験，実習等の形式で行われます。授業には学生の主体性や協働性を涵養するようアクティブ・ラーニングを促す手法や少人数による教育を積極的に取り入れます。

授業の成績評価は，定期試験の結果，レポートや課題，ディスカッション，プレゼンテーションの成果，授業やゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。評価の結果，学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

すべての授業科目で，学生が自らの学修の振り返りを行うための授業アンケートを実施します。このアンケートはそれぞれの授業改善のためにも活用されます。さらに，入学時，卒業時の意識調査や学修行動調査等を実施することで学生の学修達成状況を把握し，その結果を大学教育の常なる改善に役立てます。

学生は学修ポートフォリオシステムに自らの学修成果を随時蓄積します。学修ポートフォリオを振り返ることで自らの成長の軌跡を確認することができます。また，学修ポートフォリオはメンター教員による学生への指導・助言の資料として利用されます。さらに，卒業時には大学における学修成果の総合評価のための資料としても活用されます。

科目に関する別表（令和２年度以前入学者）

資質等＼科目等		教養基礎科目	全学モジュールⅠ科目	全学モジュールⅡ科目	学部モジュール科目	自由選択科目/留学生用科目
主として養われる資質	社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識		経済活動と社会 ビギナーのための生物学 リスク社会と社会科学 など	分子設計と合成化学 環境問題の歴史から学ぶ 医療現場の安全と安心 有害化学物質の管理と処理 廃棄物のマネジメント など	各学部の入門科目に記載	日本国憲法
	自主的に考え発信する能力	初年次セミナー	暮らしの中の情報科学 身の回りの中の物理科学 暮らしの中の物理 暮らしの中の化学　など	市民運動・NGO と核兵器廃絶 音表現とグループ・プロセス 芸術活動と社会 音楽と社会　など		平成長崎塾
	論理的・批判的に物事を考える能力		健康と医療の安全・安心 科学と技術の安全・安心 経済と生活の安全・安心 核兵器とは何か　など	コミュニケーションの生物学・臨床医学 廃棄物と土壌・地下水汚染 薬草・健康食品と病気 など		
	日本語および英語などによるコミュニケーションを行う能力	語学 （総合英語Ⅰ-Ⅲ 英語コミュニケーションⅠ-Ⅲ ドイツ語Ⅰ-Ⅳ フランス語Ⅰ-Ⅳ 中国語Ⅰ-Ⅳ 韓国語Ⅰ-Ⅳ など）	自然の科学 グローバル人材へのリテラシー 人間関係の社会学 企業の仕組みと行動 教育原理	海洋の生物と科学 日本語と社会 ことばの世界		日本語上級Ⅰ-Ⅱ オランダの言語
	情報リテラシー	情報基礎	情報の活用 計算機の科学 情報社会の安全と安心 など	情報と社会 プログラミング入門 ソフトウェアの利用技術 情報化時代の仕事術 など		
	数量的スキル					データの科学
	継続的に学び自らを高め変革しようとする態度	健康科学 キャリア入門	ビギナーのための物理化学 被ばくと社会 メディア・コミュニケーション基礎　など	経営情報と会計情報 育児リテラシー入門 企業行動と戦略 社会科学からみた安全・安心　など		キャリア実践
	グローバルかつ地域の視点から多様性を理解しようとする態度・志向性	長崎地域学	海の生物と多様性　など	環境と社会 生態系と社会 国際援助と公的部門の役割 共生へのチャレンジ 異文化接触とコミュニケーション　など		日本事情

長崎大学のアドミッション・ポリシー

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- 日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- 自ら考えようとする態度がある。
- 自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- 多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- 国際社会，地域社会への関心を持っている。

本学では，これらの資質・素養を大学入学共通テスト，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行います。